

上市高等学校アクションプラン - 1 -

重点項目	学習活動
重点課題	教科指導の充実
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 各教科で学習指導法や評価の仕方等を記載したシラバスを生徒に配布している。しかし、生徒は科目選択の資料として利用しているが、学習の指針として、十分に活用するに至っていない。 授業検討会を適宜実施して、生活実態調査結果の分析などを通して、生徒理解を深めるとともに、教科の指導法や評価法等を研究している。
達成目標	各教科担当者による授業検討会（互見授業などを含む）の実施 ※各学期の回数と内容の充実
	具体的には、各教科ごとに、学期に2回（3学期は1回）以上の実施
方 策	<ul style="list-style-type: none"> 教科指導力の改善を目指す授業検討会を開き、効果的な指導法や生徒の学習成果を測る評価法を研究する。（継続） 新カリキュラムの編成に向けて、<u>生徒の実態を踏まえた教科、科目の指導法</u>を研究する。 教科指導はシラバスに基づき実施する。その際に、授業と家庭学習の内容を明確に位置づける。 授業に対する生徒アンケートを分析して、教科指導法の工夫に役立てる。

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状のまま D：後退した）

上市高等学校アクションプラン - 2 -

重点項目	学校生活	
重点課題	基本的な生活習慣の確立。学校生活および社会生活への適応を図る。	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 「遅刻をしない」「身なりを正す」「マナーに気をつけ、みんなで元気にあいさつ」を指導重点として規律と秩序ある校風作りを進めている。 基本的な生活習慣が身につけていない生徒、規範意識の低い生徒、地域社会で配慮を欠いた行動をする生徒が一部に見られるが、保護者の理解、協力を得て問題解決を図っている。 平成22年度の生徒1人あたりの年間遅刻平均回数は2.5回であり、ここ3年はほぼ横ばいの傾向にある（H21年度2.5回 H20年度2.3回）。合計数は1000回を超えており、継続した指導が必要である。 	
達成目標	①年間一人あたり遅刻回数の減少	②全校一斉服装指導を実施し、身なりを正す意識を高める。
	前年比20%の減少	年8回の実施回数
方 策	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻の多い生徒に対し、学年、指導部が連携して問題状況の把握と問題解決に努める。 生徒自身の自覚を促し、また保護者の理解、協力を得て、問題解決を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員の共通理解を図りながら一致した指導を心がける。（全校集会時にも身だしなみの指導を行う） 生徒自身が身だしなみについて考える機会をつくり、自ら正す気持ちを育てる。 さわやか委員会、部キャプテン会議の委員による呼びかけにより、生徒自らが、マナーや規範意識を高めようとする主体的な活動を支援する。

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状のまま D：後退した）

上市高等学校アクションプラン - 3 -

重点項目	進路支援	
重点課題	生徒の主体性を引き出すための情報提供と進路指導	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・進路を決めかねている生徒や、明確な進路目標を持っていても自主的な学習行動に至らない生徒が見られる。 ・授業、施設見学、進路体験講座など多くの進路学習が行われているが、生徒は受動的であり、個々の活動を系統的に生かし、進路意識を高めていくことが苦手である。 	
達成目標	①進路体験講座などキャリア教育が進路意識の向上に役立ったと感じた生徒の割合	②第一志望の合格率（満足度） *出願時（進学、就職）の第一志望を対象とする。
	80%以上	85%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・進路体験講座などで上級学校の講義に触れさせ、将来の姿をイメージさせる。 ・オープンキャンパスへの参加率を高め、志望校への理解を深めるとともに、具体的な学習計画の実行を促す。 ・1年では「施設企業見学」を通して上級学校の雰囲気に触れさせ、進路に対する意識を高める。また、総合的学習にて「学び直し」学習を実施し、基礎学力の充実をはかる。 ・2年では「県外進路研修」や「インターンシップ」、「卒業生に聴く会」を通して上級学校や職場の雰囲気に触れ、自己理解に基づく正しい職業意識を高める。 ・入試動向や過去問の研究を深める。 ・特別授業や補習を綿密に計画し、個々の生徒の目標達成に必要な学力向上を図る。 	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状のまま D：後退した)

上市高等学校アクションプラン - 4 -

重点項目	特別活動	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実と積極的な参加を促す。 ・部活動を通して、学校生活の充実を図る。 	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に対して、リーダーシップを取れる生徒が少なく、消極的な生徒が見受けられる。 ・立案、実行までスムーズに流れていくが、行事が近づくにつれて時間的余裕がなくなる。反面、徐々に協力する生徒の数が増えてくる傾向があり、各種行事に対する満足度は86%である。 ・安易に退部したり、登録はしているが、活動していない生徒も多く見られる。継続して部活動を続けている生徒は、全体の68%である。 	
達成目標	① 行事に対する満足度	② 部活継続率
	86%以上。	68%を維持する。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会及び各種委員会と連携を図りながら、活動の輪をひろげる。 ・生徒及び教職員が積極的に目標設定や評価に関与し、生徒が自主的に活動しやすい環境を整える。 ・部活動の必要性や魅力を知らせるとともに、体力や技術、意識の向上を高め、個性の伸長と学校生活の充実を図る。 ・部顧問研修等を通して指導者自身の向上を図る。 	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状のまま D：後退した)